



なばり

2014年(平成26年) 11月2日発行

主な内容

- 2……児童虐待を防ぐ、サービス付き高齢者向け住宅
- 3～7……市議会だより
- 8……秋の全国火災予防運動、国津の杜の行事

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

住宅診断・リフォームの流れ

1. 事業の利用検討

お持ちの家を「売ろうか?」「貸そうか?」と考えている人は、まず、**名張中古住宅流通促進協議会** ☎ 41-0800 へご相談を

2. 住宅診断

専門の検査事業者が、住宅の基礎、床、柱などを診断します。(診断費用 上限10万円/戸)

3. リフォーム工事

診断結果に基づき「リフォーム工事」

4. 完成、売買成立

補助金の受け取り、賃貸・売買の成立

※リフォーム工事は購入者が行うことも可能。ただし、売買成立前に事前申請が必要



リフォーム工事費用 (リフォーム瑕疵保険加入業者による工事)

上限 **100万円** ※総額の1/3まで

耐震改修工事、防水工事、バリアフリー工事、省エネルギー改修工事のいずれかを含むもの

空き家の活用

子育て世帯が安心して暮らせるまちへ

国営繕住宅室 ☎ 63・7740

人口が減り、高齢化が進み、空き家が増える。これは、名張市だけでなく全国的に起きている問題です。

空き家の持ち主にリフォーム費用を補助し、若い子育て世代などへ売却を促す国の「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」に、桔梗が丘住宅団地が対象地域として採択された。名張中古住宅流通促進協議会が主体となり、今年度から2年間事業を進めます。

「名張に来てほしい、定住してほしい」その一つの手段として、また、まちの活性化のため、市も事業に協力していきます。

成熟したまち 空き家の現状と課題

桔梗が丘住宅団地は、市内でも早く昭和38年に造成され、現在、高齢化率は36%になっています。桔梗が丘西を除く、桔梗が丘と桔梗が丘南地区は、約5600戸のうち、空き家が338戸あるとされています。少子高齢化が進み、人口の減少が続けば、空き家は今後とも増える予想されます。この問題は、名張市だけではなく、全国的な社会問題です。

増えていく空き家を活用して、子育て世代が住むようになれば、賑わいと活気が出てくるはず。

空き家の改修を補助 地域を活性化させる

住宅団地の戸建住宅などにおける空き家を改修して、再流通させ、若い子育て世代などへの売却・賃貸を促進する国土交通省の「住

宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」に桔梗が丘(桔梗が丘・桔梗が丘南)住宅団地が採択されました。この事業に、市内の企業や地域づくり組織の代表者でつくる「名張中古住宅流通促進協議会」が取り組んでいます。

この制度は、空き家をリフォームする場合、協議会を通じて100万円を上限に補助が出る仕組み。若い子育て世代が無理なく、子育てに適した広い家を安く購入できるとあって、若い世代を地域に呼び込む効果が期待されます。

現在、協議会では、地域づくり組織の皆さんと連携しながら、空き家の実態調査とアンケート調査を実施しています。今後は、来春までに希望者が入居できるように住宅のリフォームを進めていく予定です。

市は、空き家の解消と人口の減少を食い止めたという施策と合致するため、この事業の推進に協力していきます。

事業に期待し、まちづくりを進める



桔梗が丘自治連合協議会 会長 辻森 保蔵 さん

桔梗が丘が造成されて50年が経ち、少子高齢化が進み、空き家や商店街の空き店舗が増えてきました。「若い世代が桔梗が丘に住んでほしい」と、この事業に大いに期待しています。これからも、住みよいまちを目指して住民の皆さんとともにまちづくりを進めていきます。

まちの活性化の一役を担う



名張中古住宅流通促進協議会 会長 森 孝司 さん

事業の採択を受けて、アンケート調査を実施していますが、すでに多くの人から期待する声をいただいています。

私たちが適正な事業運営をしながら、桔梗が丘地域をはじめ名張市全体を活性化できるように、その一役を担わせていただきたいと思います。